

- 「そだよね」と共感できる部分に線を引ながら文章を読みましょう。
- 角笛さんは、「もう二度と会うことができない『別れ』に直面した時に痛いほど感じさせられる」のはどのようなことだと書いていますか。

「あたりまえ」の日常がいつまでも続くわけではないということ。

- 角笛さんが、大切な人の死から学んだことはどのようなことですか。

次があるから今回はいい。明日も会えるから大丈夫。そんな思いは置いておいて、すぐに行動することが大切であること。

- 角笛さんは、別れにより残された自分たちにできることはどのようなことだと書いていますか。

後悔するばかりではなく、思い出を忘れず前を向いて生きること。

- 角笛さんが書いている「そのことを忘れずに、日々の時間を大切に過ごしていきたいと思う」のそのこととはどのようなことですか。

**もう二度と会えない別れは、ただただ悲しいだけでなく、大切な人が私たちに
向けて最後に残してくれた教え、かけがえのない思い出を胸に刻み、前を
向いて生きていくことこそが、その人へ感謝を伝えることができる方法であ
ること。**

- あなたは、「なぜあの時こうしなかったのか。どうして言わなかったのか。どうして会いに行かなかったのか」と思ったり、後悔したことはありますか、答えられる範囲で答えてみましょう。

略

- あなたは「思いは伝えるべきであるし、会いたいと思ったらすぐに会いに行き」たい人はいますか、答えられる範囲で答えてみましょう。

略

年 組 名前



「父の死から今年で4年。応援していた人の死から1カ月。始まりがあれば終わりがある。出会いがあれば別れがある。生きていければ、いつかは死んでしまう。それは理解しているけれど、突然すぎる別れにはいつも戸惑い、悲しみ、混乱してしまう。」

「あたりまえ」の日常がいつまでも続くわけではないということ。だからこそ、毎日後悔しないように生活して

い。そんな日常がある日、突然消え去っていく。準備もできないまま時間だけが過ぎていつか

い。明日も会えるから大丈夫。そんな思いは置いておいて、すぐに行動することが大切なのだ、私は大切に

た。そんな世界で生きているからこそ、思いは伝えるべきであるし、会いたいと思

「別れ」の教え胸に刻み

角 笛 いつき

うちに何度、大切な人とお別れをしなければいけないのか。生きていくうちに何が起るのか。それは誰にも分からない。そんなことを忘れずに、日々の時間を大切に過ごして